

## 平成 29 年ダイヤ改正見直しに関する申し入れ

本部は、8月31日午後より、「平成 29 年ダイヤ改正見直しに関する申し入れ」交渉を行いました。以下、報告します

- 1、通常時の作業において、所定の組成内容での列車編成が出来ず、組成内容変更の電報手配が多発している列車があるので、交検抜き取り駅の持ち替えや抜き取り作業時間の確保をする等、改善を図られたい。

回答：異常時等により、ダイヤが大幅に乱れた場合、貨車運用を変更し折返し列車の定時運行の確保又は遅れ時間の短縮を図っている。  
一部列車において変則な組成内容のまま往復していたことから、大型コンテナの積載個数や積載位置を制限していた事例を確認したため、関係支社には可及的速やかに所定編成に戻すよう指導した。

組合・具体的に指導した支社はどこか。

会社・北海道支社である。最近では盆休前、異常時のため組成が変わっていたが、貨車が戻ってきた段階で所定に戻すよう指導した。

組合・盆休後も組成変更があったが。

会社・異常時によるものである。一往復したら確実に所定に戻している。

組合・異常時は理解するが、確実にを行うよう指導されたい。

会社・了解した。

- 2、全社的に交検余裕日数が長く設定されている為、交検抜き取り指定駅においての作業輻輳や、交検切れ貨車が交検抜き取り指定駅以外の駅で解放手配となる事象が多発している為、交検抜き取り駅の増設や交検余裕日数を短くする等、改善を図られたい。

回答：コンテナ車の交検抜き取りについては、コンテナ車の運用を精緻に考慮したうえで、抜き取り駅を指定している。

また、CCOMASにより一部前倒しによる交検抜き取りを行っているが、これは検査両数の平準化を目的に実施している。通常時において抜き取り指定駅以外での抜き取りは確認できていない。

交検抜き取り駅の増設や交番検査施行時期までの必要日数については、全体の交検発生両数等考慮し、コンテナ車の運用・駅作業を勘案しながら、短縮することは追求していくが、抜き取り駅の増設は考えていない。

組合・回答での「通常時において抜き取り指定駅以外での抜き取りは確認できていない」というのは納得できない。実際に抜き取り指定駅以外で、交検切れ貨車の抜き取り作業が発生している。

会社・交検切れ貨車が、抜き取り指定駅以外で解放になるのは、異常時の影響によるものである。所定運用されていれば、抜き取り指定駅以外での作業は発生しない。

組合・日々、列車は何らかの影響で遅れており、正常で運行している方が年間を通して少ない。交検余裕日数が長く設定されているため、影響を受けることが多く、今後も発生することは容易に考えられる。異常時とはいえ、抜き取り指定駅以外での抜き取り作業が発生すれば、安全問題に発展する。全国的に検修職場の減少で抜き取り指定駅が減少しており、貨車の効率的な運用のためにも、検修職場の増設や抜き取り指定駅の増設はできないのか？

- 
- 会社・回答の通りコンテナ車の運用・駅作業を勘案しながら、必要日数を短縮することは追求していくが、全体の貨車総数は減少しているため、検修職場・抜き取り指定駅の増設等は考えていない。
- 組合・検修職場の作業平準化のため、CCOMASを導入した経緯は理解する。実際、検修職場から、不満の声は上がってこない。しかし、駅作業においては、運べるはずの荷物が、コンテナ抜き取りにより、運べなくなるという事態が起きていることを理解してほしい。駅サイドからすれば、まだ交検施工時期までにはかなり余裕がある貨車を外すのは、府に落ちない部分があり、運べない荷物が多く発生すれば、会社の売り上げにも響いてくる。一度精査し、改善を図っていただきたい。
- 会社・駅実態を調査し、改善できることは改善していきたい。何度も言うが、回答の通り、交番検査施行時期までの必要日数については、全体の交検発生両数等考慮し、コンテナ車の運用・駅作業を勘案しながら、短縮することを追求していきたい。
- 組合・駅サイドの気持ちも十分に汲み取って頂きたい。
- 会社・了解した。

以上